

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第84号 (H30.7.22)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに

7月、梅雨明けと共に厳しい暑さが西日本から東日本まで覆っていますね。熱中症の被害も報道を賑わして、豪雨被害の復旧をされておられる方々の健康も心配です。できる限り速やかな復旧をお祈りします。

一方、宮崎ではもう稲刈りが始まりました。我が家も新米をいただきました。日本人にはお米のご飯がいいなあと一人感じております。

今回のORMZニュースは、会の活動報告と現地の巡回診療等の報告、巡回診療に参加された医学生からの報告、ザンビア日本大使館からの情報などです。どうぞご覧ください。

会の活動報告

- ・6月15日：4月に申請した法人税の減免の承認決定通知が届きました
- ・6月24日：国内外で「生命」「平和」を守るために行っている事業を助成対象とする「風に立つライオン基金2018」(設立者、理事 さだまさし氏)に応募申請しました。助成対象は巡回診療と巡回診療の間においてコミュニティヘルスワーカーが行っているマラリア検査や治療薬の費用です。採用されることを願っています。
- ・7月11日：臨時理事会を開催し、現地の法人所有車両が故障で全て動かない状況のため、現地での薬品購入や日々の活動のための小型自動車購入への支出について審議、購入を承認しました。今後車を探して購入することとします。なお、巡回診療にはレンタカーで対応する予定です。

現地活動報告 (ザンビアより芦田様から)

◎6月20日 ニャンカンガ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ポストンさん、ダニエル (レンタカー) なお、ムワプラからの応援は人手不足で不参加

CHW： 5人：モーゼスさん、エバリンさん、マチルダさん、リアさん、サミュエルさん

患者数： 60人 マラリア検査数60人うち陽性0人、

主な症状： 咳、頭痛、腰痛等 重篤なケース： 無し

*蚊帳販売： 0個 (残り22個)

*道路状況： 特に変化無く、通行はできる。

*ルアノ地区設置井戸ポンプの故障：コネクティングロッドとチェーン、ベアリング交換が必要

◎6月27日 ルアノ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ポストンさん、メアリーさん、ギルバート (レンタカー)

CHW： 4人：マチラさん、マーティンさん、マンボさん+一名

患者数： 38人 マラリア検査数38人うち陽性3人、

主な症状： 咳、目の問題等

重篤なケース： 女児 10 歳左手首骨折の疑いで、チョングウェへのリファールノート作成

*蚊帳販売： 0 個 (残り 22 個)

*道路状況： 変わりなく、通行可。

*ルアノ地区設置井戸ポンプの故障：工事元の China Gansu へ引き続き連絡を取る

◎7月4日 サンダラ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、メアリーさん、ニョニさん、エスターさん (SIC チペンビ)、
ギルバート (レンタカー)、ダニエル (レンタカー)

CHW： 7人：マチラさん、マーティンさん、コンスタンス、ハムサレさん、サンダラから3名

患者数： 25 人 マラリア検査数 25 人うち陽性 14 人 (マラリア陽性の人たちは全てリテタなどボ
ーダーの向こう側ムルングシ郡から来た人たちで、サンダラ近辺の人々の健康状態は良かった)

主な症状： 風邪、咳等 重篤なケース： 無し

*蚊帳販売： 2 個 (残り 20 個)

*道路状況： 変わりなし。

◎7月11日 ルアノ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ボストンさん、ラブネスさん、メアリーさん、ギルバート、

CHW： 4人：マチラさん、マーティンさん、マンボさん+1名

患者数： 38 人 マラリア検査数 38 人うち陽性 2 人、

主な症状： 頭痛、咳等 重篤なケース： 無し

*ルアノ地区設置井戸ポンプの故障：9日に China Gansu を訪問し、すべてのパーツを無料で交換して
くれました。残念ながら昨日 11 日の診療の際には荷物が載らず持っていけなかったため次回の診療の
際に持っていく

◎7月18日 ニャンカンガ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ボストンさん、パトリシアさん (ルアプラ HC スタッフ)、ダ
ニエル (レンタカー) ルアプラ HC のパトリシアさんが参加するため、ラブネスさんは参加せず。

CHW： 5人：モーゼスさん、エバリンさん、マチルダさん、リタさん、サミュエルさん

患者数： 68 人 マラリア検査数 68 人うち陽性 1 人、

主な症状： 腰痛、頭痛、咳等

重篤なケース： 無し

*蚊帳販売： 無し (残り 20 個)

◎マラリア蚊殺虫剤噴霧事業などにより、確実にマラリアにかかる人が減っているようです。

ルアノ地区の巡回診療に参加して (医学生の報告)

この度は、ルアノ地区へのモバイルクリニックに参加させて頂き、ありがとうございました。

毎年ザンビアでの臨床実習を行っている藤田の学生が、山元先生のモバイルクリニックに参加させて
いただいているということで、今年は是非自分も体験したいと思っておりました。

モバイルクリニック前日には薬のパッキング作業を手伝わせて頂きました。薬は先生がザンビアの薬局で買われたもので、何十種類、何百個の抗菌薬や抗マラリア薬や鎮痛剤や降圧薬など、日本でもよく使われているものやザンビアならではのものが多々ありました。マラリアやHIVの簡易キットの使い方なども教わり、アフリカの医療の現状などが垣間見れる一面でした。薬剤は先生が村の方に無償で配られており、その資金は多くの方々の支援のお金で賄われているとのことでした。

ルアノ地区はザンビアの首都ルサカから4,5時間ほど行った辺境の地にあり、途中の道からはアップダウンの激しい未舗装の悪路を2時間ほど行かなければなりません。これは自分にとっては想像以上のもので、思わず車外の光景を食い入るように見つめていました。目的地までの道の途中には、予め先生が来られるのを知っていた村人が道の横の草むらでずっと待っており、先生も車から降りてすぐに診療を開始されているのに大変驚きました。



ルアノの村では自分たちは村の人の紙カルテの整理や、血圧や体重の測定、薬剤の配布の補助などを手伝ってもらいました。紙カルテは8000冊にも及ぶ莫大な数で、先生がいかにか村人の方々から信頼され、頼られているのがよくわかりました。先生の診察の終盤には、自分たちにも何人か村の人の診察を一对一でさせていただきました。現地語を話せる通訳さんを通して英語で問診から身体診察までやらせてもらい、自分たちが考えたプロブレムを実際に先生にも見てもらって、ご指導を頂きました。まだ診療経験が皆無に近い自分たちにはとてもいい経験となり、大変ありがたい実習となりました。



今回の実習では、日本の実習よりもより「命」というものを身近に感じる事ができ、医師を志すものとしてより深く考えさせられるきっかけとなりました。今回経験したことを大切に、今後もより一層の研鑽を積んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。

(藤田保健衛生大学医学部6年 大島一真)

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・平成30事業年度(事業年度は1月から12月)の賛助会費(個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上)及びご寄附(金額は問いません)のご協力をお願いします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附(賛助会費含む)いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書(賛助会費も寄附金と同様税控除の対象)をお届けします。
- ・ご不明の点は日高(info@ormz.or.jp)までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替

口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名 : NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角) : トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

*これからもご支援のほどどうぞよろしく申し上げます